



Adjuvant FOLFOX および XELOX による脾臓容積の変化

2014 年 1 月以降に FOLFOX または XELOX による術後補助化学療法が施行された患者さん

研究協力をお願い

当科では「Adjuvant FOLFOX および XELOX による脾臓容積の変化に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2014 年 1 月以降に日本医科大学付属病院消化器外科にて、大腸癌手術を行った後に術後補助化学療法として FOLFOX または XELOX 療法を受けられた患者さんの脾臓容量と予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：Adjuvant FOLFOX および XELOX による脾臓容積の変化に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2024 年 3 月 31 日

研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器外科 山田 岳史

(2) 研究の意義、目的について

大腸癌においてオキサリプラチンを用いた化学療法による脾臓容量の変化と予後の関係を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2014 年 1 月 1 日より 2024 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて、根治切除を受けられた大腸癌患者さんの CT 画像検査や再発の有無などを解析し、脾臓容量変化と予後についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器外科 病院教授 山田 岳史

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24210

メールアドレス：y-tak@nms.ac.jp